

日米豪国際連携を通じた超カバレッジBeyond 5G 無線通信・映像符号化標準化技術の研究開発

研究概要：Beyond 5Gシステムの要求条件の1つである超カバレッジの実現に向けて超カバレッジ無線伝送で必要とされる**伝送距離の長い無線通信技術**および**高圧縮の映像符号化技術の研究開発**と**国際標準提案・知財の獲得**を**日米産学機関と連携**して行う。これにより高精細映像の狭帯域無線伝送つまり、**超カバレッジ映像伝送**を実現し、活用シーンが一気に広がることを示す。さらに**超カバレッジ映像伝送用無線システムの構築**を行い、Beyond 5G時代において**比較的低い周波数が十分に活用可能**であることを示し、**日本の放送局を含む日豪産官学機関との連携**を通じて本研究開発成果が幅広く活用可能であることを示す。

Beyond 5Gにおける超カバレッジ無線伝送における課題



研究開発項目 1

超カバレッジ映像伝送を支える無線通信・映像符号化の標準化技術の研究開発



国際標準化およびB5G知財の獲得

3GPP A GLOBAL INITIATIVE Rel.18/Rel.19 (Pre-6G)

MPEG JVET Video Coding for Machines Beyond VVC

ITU

研究開発項目 2

Beyond 5G時代のデータ利活用のためのAIと映像を用いた実証実験



高圧縮映像符号化を用いた超カバレッジ映像伝送用無線システムがAI用途で用いることができることを豪州研究機関と連携し実証

【契約期間】令和4年度（継続評価予定）

【契約総額】約5億円

【受託者】シャープ株式会社（代表研究者）、国立大学法人京都大学、学校法人早稲田大学、大分朝日放送株式会社